

くまがや自治連だより

ひろば

第27号

令和2年1月発行

ホツと
くまがや

©熊谷市

「命を守る防災対策」

熊谷市自治会連合会

副会長 茂木 嘉雄

明けましておめでとうござい
ます。本年もよろしくお願
いいたします。

昨年はラグビーワールドカ
ップ2019が開催され、日
本代表の優秀な成績もあり、
大変な盛り上がりで幕を閉
じることが出来ました。今
年の東京オリンピックもラ
グビーと同等以上の盛り上
がり期待されています。

しかし、輝かしいことばかり
ではありません。近年日本
各地で自然災害による甚大
な被害が発生しており、被
災者への支援と共に災害
対策の意義が問われています。

熊谷市は日本一暑いことで
知られていますが、比較的
災害の少ない地域でもある
ため、防災意識が低いとも
言われています。

昨年発生した台風15号では
千葉県を中心に、台風19号
では広範囲にわたって大規
模の被害が発生しました。本
市にも、大規模災害が発生
する可能性はあります。

行政による防災対策と情報
共有し、各自治会は災害に
備えることが必須であり、
その重要性が増しています。
そして、防災知識や情報
を得ると共に、自治会単位
で防災（危機）意識と団結
を高め「命を守る」防災の
備えを実践しましょう。

◇村岡自治会◇

会長 下村 博行

村岡自治会は、荒川大橋を渡って、東松山方面へ向かう国道四〇七号を中央に、東西へ広がる地域です。近隣の自治会は万吉・平塚新田・楊井・熊谷ハイタウン・ダイアパレスリバーコート熊谷があり、村岡を含めた6つの自治会で吉岡自治会連合会となります。

村岡自治会は約五四〇世帯、四十二班（組）で構成され、吉岡の中では一番大きな自治会です。

自治会としての主な行事は、スタンプラリー、敬老会、地区民体育祭、防災訓練等があります。

スタンプラリー

スタンプラリーは、地域に遺された遺跡や文化財を巡り、子供から年配者までゆつくり歩きながら、クイズに答えてスタンプを集め、コミュニケーション活動の活性化を図る行事です。

村岡には、熊谷市指定有形民俗文化財「茶臼塚板石塔婆」があります。これは、熊谷直国（熊谷直実の孫）の供養のために建てたことが記されています。

また、夏場に荒川を往来した「村岡の渡し船」が、吉岡小学校に保管されています。

そして村岡集会所には、室町時代から江戸時代に作られた「木造馬頭観音菩薩立像」をはじめ、8体の仏像が安置されており、集会所は別名「村



岡観音堂」とも呼ばれています。スタンプラリーを通して、こうした施設を巡り、地域の歴史や文化財を知り、昔の人々の生活習慣を考える良い機会となっています。



茶臼塚板石塔婆（右）
木造馬頭観音菩薩立像（上）

防災訓練

防災訓練では、例年、吉岡消防団の皆さんに御協力いただき、水消火器を使つての初期消火訓練、AEDによる救命訓練、三角巾を使用した腕の固定法、竹竿や毛布を利用した応急担架の作成・搬送方法等を訓練しています。また、炊き出しで豚

汁を作り、参加者に食べていただきました。年々「想定外の災害」が増加し、各地に大きな被害をもたらしています。皆さんの防災意識を高めてもらう為に、今年度は市役所から講師を招いて、防災講習会を開催することにしました。ハザードマップの説明や、避難場所の確認、避難ルートの再確認、隣近所の人たちの安否確認等の重要性を再度認識していただく機会にしていきたいと思っています。

また、自治会と協定を結んでいる企業の方々に、それぞれの災害時の役割等を説明していただきます。

自治会としては、班長（組長）さんと連絡を密にとり、会員の安全を最優先に考えています。



防災講習会

◆秦自治会連合会◆

会長 相川 一好

秦地区は妻沼地区の東端に位置し、北を利根川が流れ、南は福川を挟んで日向地区まで、とても長閑な田園地帯に十五自治会、約九百世帯からなる地域です。昭和の大合併（三十年代）までは「秦村」と呼ばれ、地区内に渡船場（赤岩の渡し）や葛和田サッカー場・グライダー場など、広大な利根川河川敷を利用した施設があるのは皆さんご承知のとおりです。他地区と同様に少子化の悩みを抱えておりますが、だからこそ地域の宝・子供たちを中心とした活動が大切に継続されております。本稿ではその一端をご紹介します。

夏休みのお泊り会

秦地区では、夏休みにお泊り会が催されます。土曜日の夕方、子供たちが秦小学校に集まり、



模擬店の様子



じいちゃんとお遊び

そこには「縦割り学級」という学年を越えた、小さな小学校ならではの、ほのぼのとした風景があります。



学年縦割りゲーム大会



みんなでお食事

いろいろな模擬店を楽しみます。また、傍らではおじさん（おじいちゃん？）たちがベーゴマなどの「昔遊び」を伝授し、暗くなつた校庭では映画会が始まります。ひとしきり遊んだ後は、会場を秦公民館に移して花火大会です。お夜食のおにぎりを食べてお泊りし、翌朝はみんなで片付けをしたりゲームをしたりして、お昼頃に解散となります。

今年の参加者は八十人以上で、秦小九十一人のほとんどが参加しています。全体の運営は秦小学校区連絡協議会ですが、「秦っ子クラブボランティア」のパワーが欠かせません。さらに、秦小OB・OG（中高生）と一緒に泊りして子供たちの面倒をみてくれており、地域を挙げての活動となっております。



OB・OGのお兄さんお姉さん



秦っ子クラブボランティアの皆さん

地域の特色を生かした活動

お泊り会以外にも、「秦っ子クラブ」主催のパンケーキ作りや利根川河川敷でのポピー摘み、秦公民館での餅つき大会・注連縄作りなど、子供たちを中心とした活動が催されています。

また、今年はおまげがありました。ご覧になつた方もいると思いますが、女医日本第一号の荻野吟子女史の生涯を描いた映画「一粒の麦」に、秦小の子供たちがエキストラ出演しました。秦地区出身の女史の映画ですので、関係者の皆さんが出演交渉を重ね、監督と校長先生のご理解を得て実現しました。主演の若村麻由美さんや山本耕史さんとの共演が印象に残ります。

さらに少子化が進み、こうした活動が危機にさらされる場面も考えられますが、「ほのぼのとした地域教育の場」として学校教育との両立を図りたいものです。

自治会連合会の ホームページを開設しました



熊谷市自治会連合会の事業や、各自治会の活動を地域の方にお知らせするため、自治会連合会のホームページを作ったんだにゃ。地域の見所なども紹介しているので、ぜひ一度見てほしいにゃ！



自治会ってどんな
ことしてるんだろう。
加入したほうが
いいのかな？

ホームページでは、「自治会ってどういう団体なの？」という基本的なところから、各自治会の活動例も紹介しています。ぜひご覧ください。



事務局に出さないと
いけない書類が
あるけど、様式を
なくしてしまった。

自治会長さんにお出しいただく書類の様式を掲載しているので、いつでもダウンロードできます。また、自治会長さんにご参加いただきたい行事等もお知らせします。

自治連HPは、下記QRコードを読み取るか「熊谷市自治会連合会」で検索！



<https://kumagaya-jichiren.com/>
(ただし、開設間もないため検索エンジンで表示されない場合があります。その場合は熊谷市ホームページのリンクをご利用ください)

トップページ → くらし → 市民活動・市民参画
→ 自治会



みんなで活動して
いるところや、
地域の自慢の場所を
知ってもらいたい！

地域のことを自治連ホームページでPRしてみませんか。掲載には要件もありますので、まずは事務局（TEL 048-524-1129：市役所市民活動推進課内）へご連絡ください。

令和元年度スキルアップセミナー

8月21日、全自治会長を対象としたスキルアップセミナーをホテルガーデンパレスで実施しました。「災害犠牲者ゼロを目指して」をテーマとし、講師は茨城県常総市根新田町内会事務局長の須賀氏にお願いしました。セミナー概要は以下のとおりです。

①須賀氏による講演「地域コミュニティが命を救う・ITを活用した災害に強い町づくり」

常総市根新田地区は、2015年9月の「関東・東北豪雨災害」で鬼怒川の堤防が決壊し地区のほとんどが甚大な浸水被害を受けました。しかし、前年から運用を開始していた「SMS（ショートメールサービス）一斉送信システム」を活用することで住民の逃げ遅れを防ぐことができたため、この取り組みが全国的に知られるようになりました。

被災後、根新田地区では自主防災組織を設立することとなりました。川の水位を確認できる「防災用ライブカメラの設置」や「マイ・タイムラインの作成」、「無事ですタオ大大作戦」など、新たな取り組みを実施しており、昔ながらの地域のつながりを大事にしつつ、ITも活用して「災害犠牲者ゼロ」を目指し活動しています。



②マイ・タイムライン作成

国土交通省荒川上流河川事務所荒木副所長に「荒川の概要」を、熊谷市荻野危機管理監に「熊谷市防災行動計画」を解説していただいた上で、須賀氏の指導の下、災害（水害）発生時の行動計画である「マイ・タイムライン」を、参加者それぞれが作成しました。

マイ・タイムラインは、台風の発生から上陸までの間、各自の事情に合わせて、どんな事をどのタイミングで行うかを決めておくものです。最初は何を書けばいいのかとまどう方もいましたが、須賀氏にアドバイスをいただき「安否確認を行う相手」や「避難時に持ち出す物の準備」、「家財の保全」などを時系列に沿って具体的に書き出すことで、「その人のための行動計画」が出来上がりました。

参加者からは「災害に対するマニュアル作成の必要性を感じた」「大きな災害に遭った経験がないので、イメージがわかずマイ・タイムラインの作成には苦労した。小・中学生にも作成させてあげたい」などの声が聞かれました。



令和元年度講演会

10月17日、全自治会長を対象とした講演会を大里生涯学習センター「あすねっと」で開催しました。今回は、「大きく変わった介護保険制度～住み慣れた地域で健康に生活するためには～」をテーマとし、2部構成で実施しました。

第1部 介護保険制度の概要 講師：熊谷市福祉部長寿いきがい課職員

第2部 現在推進されている介護保険事業について

(1) 生活支援体制整備事業 講師：埼玉県社会福祉協議会職員

(2) 認知症施策推進事業 講師：認知症地域支援推進員

(3) 介護予防事業 講師：ニャオぎね元気体操サポーター
「さくらフィット（久保島）」

第1部と第2部（1）では、現行の介護保険制度や生活支援に関する取り組みについて講演していただき、制度の利用方法等、詳しく知ることが出来ました。

第2部の（2）（3）では、実際に体を動かし、認知症予防・介護予防のエクササイズを体験しました。認知症予防のエクササイズは、一見簡単そうに見えて、実際やってみるとうまくいかない場合もありましたが、繰り返すうちにだんだんできるようになるため、効果を実感できた方も多かったと思います。また、さくらフィットさんからは介護予防に役立つ「ニャオぎね元気体操（の一部）」を教わったほか、地域で人を集めるための取り組みについても紹介していただきました。参加者からは「体を動かす体験ができてよかった」「自分の地域でも実践してみたい」などの声が聞かれました。



市長との懇談会

11月26日、市役所603会議室において、自治会連合会理事を対象とした、市長との懇談会を開催しました。今年度は「ラグビーワールドカップ2019の総括」「人口減少問題に対する市の施策について」「ごみの減量化に関する市の施策について」の3つをテーマとして、活発な意見交換が行われました。

出席した自治会長からは、地域の実情によって様々な質問・意見・要望が出されましたが、市長にはひとひとつ丁寧に回答していただき、実りある懇談会になりました。

地域では、今回のテーマである「人口減少問題」「ごみの問題」以外にも課題が山積しているところですが、自治会間で連携を取り、市とも協力して課題の解決に取り組んでいきたいと思ひます。



熊谷市犯罪情報の住民提供等に関する協議会

8月19日、熊谷市民への犯罪情報提供を的確に実施するため、熊谷市・熊谷市自治会連合会・熊谷警察署で標記の協議会を開催しました。

今年で4回目となる同協議会には、富岡市長・野口警察署長と、自治会連合会から岡部会長・野口副会長が出席しました。防災行政無線や熊谷市メール配信サービス「メルくま」等を活用し、小さな事件であっても、より一層的確な情報発信を市民に提供していくことを確認しました。



編集後記

ひろば第27号の発行にあたり、ご寄稿頂きました各自治会に感謝いたします。

昨年の台風19号においては、熊谷市でも市内の小中学校など五十二か所に避難所を開設し多数の方が避難しました。各自治会長においては民生委員と協力し高齢者、単身世帯を中心に避難誘導して頂いたことと思ひます。多数の方が避難できたのも、今回ご紹介頂いたような自治会活動により、地域のコミュニティが機能している成果だと思ひます。

ここ数年を見ても、もはや想定外の災害というレベルではなくなつてきています。広域な災害ほど自助、共助の重要性が高まります。

自治会連合会としても、昨年は全自治会長及び防災担当者を対象としたスキルアップセミナーや、介護制度を勉強する講演会を開催し、時代に即した取組を心がけています。

今回ご紹介した活動が各自治会活動の一助となり、自治会員皆様のみますのご発展とご活躍に繋がることを祈念申し上げます。

熊谷市自治会連合会副会長 橋本 弘